



Arcserve UDP Cloud Direct BaaS (Backup as a Service)、 ハリケーン・サンディの 影響を回避

Westinghouse Lighting Corporation は、住宅用、商業用、産業用に 5,000 以上の電気製品および照明製品を提供しているグローバルな大手メーカーです。2012 年 10 月には、同社がバックアップと災害復旧ソリューションの刷新を迫られる事態が起こりました。



業種：製造業

拠点：米国ペンシルベニア州
フィラデルフィア

Arcserve UDP Cloud Direct (BaaS)
使用開始：2012 年

データ保護対象：

- NAS アプライアンス上のデータ
1.4TB
- Windows および Mac
- データベース：
Microsoft Exchange、SQL、
Dynamics Nav 2009

課題

Westinghouse は、ハリケーン・サンディが接近した時期に、低速で信頼性の低いテープバックアップに依存していた。

導入

Arcserve を導入して、データ保護のワークフローを合理化し、すべての重要データを米国西海岸に迅速にバックアップ。

効果

テープバックアップの依存を解消した。

わかりやすい価格設定で、予算計画がしやすくなった。

バックアップに完全な信頼性があり、いつでも復旧可能であるという安心感を得られた。



課題

信頼性の低いテープバックアップがもたらすビジネスの遅延

ハリケーン・サンディの到来がきっかけとなったとは言え、Westinghouse は既存のテープバックアップシステムにすでに不満を抱えていました。テープバックアップは、管理に多くの時間とリソースを要します。さらに、バックアップが不完全であることが多く、多くのエラーが発生することもあります。テープからのデータの復元は、IT 部門にとっては特に困難な作業でした。Westinghouse で IT スペシャリストを務める Carl Nestor 氏は、次のように述べています。「正しいテープを見つけるのに何日もかかることがありました」



データを復旧できるかどうか不安を感じる事がなくなり、必要なときに復旧できる確信を得られました。

- IT スペシャリスト、Carl Nestor 氏



サポートからの応答が遅れるとデータ復旧が困難に

Westinghouse は Symantec のバックアップソフトウェアソリューションを導入していましたが、そのテクニカルサポートにも課題がありました。IT チームが問題に直面してサポートに連絡する必要が生じた場合、応答を得るまで数時間から数日も待たなければなりません。さらに悪いことに、応答が返ってこないことすらあったと、Nestor 氏は述べています。

バックアップの速度と信頼性に課題がある上に、サポートからの応答が遅いため、ハリケーン・サンディが接近した際には災害発生の可能性が現実のものとなりました。このときに、直接クラウドにバックアップする Arcserve ソリューションの採用が浮上しました。

導入

Arcserve がビジネスクリティカルなデータを安全な場所にバックアップ

Westinghouse の IT スーパーバイザである Jesse Reyna 氏は、次のように振り返ります。「最重要データを可能な限り早くバックアップすることに加えて、可用性がハリケーン・サンディの影響を受けないように十分に遠隔な場所にバックアップすることが、突如として重大な課題となりました」 同社が Arcserve に求める最優先の要求は、ハリケーンの襲来で社屋に影響が及ぶ前に、データを遠隔地にバックアップすることでした。

Arcserve は、Westinghouse がバックアップを迅速にセットアップできるように支援するため、ハリケーン・サンディの勢力圏外となる米国西海岸の Arcserve データセンターに設置されているボリュームを使用しました。Arcserve UDP Cloud Direct のバックアップおよび復旧サービスは、Westinghouse のすべての重要データを約 8 時間でバックアップしました。これによって、米国東海岸でハリケーン・サンディが猛威を振るっても安全に復旧できるように確保されました。

シンプルなバックアップと容易な復元

この出来事の後もなく、Westinghouse はサーバの大部分を Arcserve に移行しました。これによって、バックアップはオフサイト（クラウド）へ自動送信されるようになり、IT はバックアップの管理を懸念する必要がなくなりました。復元も大幅に高速化し、負荷の少ないプロセスになりました。Reyna 氏は、次のように述べています。「これまでに、ファイルサーバで復元を行う必要が数回ありました。直接クラウドにバックアップする Arcserve ソリューションを使用することで、以前のテープバックアップに比べて作業が非常に簡単になりました。バックアップに新風を吹き込むソリューションです」



これまでに、ファイルサーバで復元を行う必要が数回ありました。Arcserve を使用することで、以前のテープバックアップに比べて作業が非常に簡単になりました。

- IT スペシャリスト、**Carl Nestor 氏**



効果

シンプルな価格設定で IT コストを削減

Reyna 氏は、次のように述べています。「Arcserve のシンプルでわかりやすく、そして手頃な価格設定が気に入っています。オンプレミスのハードウェアを追加する必要がなく、導入時の追加コストも発生しませんでした。それに加えて、優れた拡張性も得られます」



負担が軽減された当社の IT チームは、安心して作業できるようになりました。Arcserve に切り替えてから、バックアップのコストを大幅に削減できています。

- IT スペシャリスト、**Carl Nestor 氏**



自動バックアップと簡単な復元で IT の貴重な時間を節約

日常的な活動における最も大きな違いについて、IT チームの答えは明解でした。毎日のテープの管理が不要になったことです。Nestor 氏は、次のように述べています。「一度設定すれば後の操作が不要な Arcserve に切り替えたことで、テープの管理から解放されました。また、Arcserve の迅速で簡単な復旧を活用できるようになったことで、作業時間を大幅に削減でき、ほかの IT タスクに集中できるようになりました」

Arcserve への移行が IT チームにもたらした安心感

信頼性の高いデータ保護ソリューションへの切り替えによって、Westinghouse の IT チームは安心感という非常に大きなメリットを得ることもできました。Reyna 氏は、次のように述べています。「データを復旧できるかどうか不安を感じるものがなくなり、必要なときに復旧できる確信を得られました」

※本資料は海外事例を翻訳したもので、日本国内でサポートしていない環境を含む場合があります。日本国内でサポートする環境の最新情報は以下の動作要件ページをご確認いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J00000015MxWAK?language=ja>

Arcserve の詳細については、www.arcserve.com/jp をご覧ください。

Copyright © 2020 Arcserve (USA), LLC (関連会社および子会社を含む) All rights reserved. 本書で参照されている商標、商号、サービスマーク、ロゴはそれぞれの所有者に帰属します。本書はお客様への情報提供のみを目的としています。Arcserve は、本書の情報の正確性または完全性について一切の責任を負いません。適用法で許可される範囲で、Arcserve は本書を「現状のまま」提供し、商品性、特定目的への適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。いかなる場合においても、Arcserve は、逸失利益、事業の中断、営業権の喪失、データの損失を含むがこれに限定されない、本書の使用に起因する直接的または間接的な損失または損害について、Arcserve がそのような損害の可能性について事前に明示的に通知されていたとしても、一切の責任を負いません。